


11 保証と修理

本製品の保証内容は、製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」に記載されています。製品をご利用になる前にご確認ください。本製品の故障の際は、保証期間の内外にかかわらず、弊社修理受付窓口へご連絡ください。

アライドテレシス株式会社 修理受付窓口

 0120-860332

携帯電話／PHSからは：045-476-6218
月～金（祝・祭日を除く） 9:00～12:00
13:00～17:00

● 保証の制限


本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害（人の生命・身体に対する被害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない）につきましても、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

12 ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、次の「サポートに必要な情報」をご確認のうえ、弊社サポートセンターへご連絡ください。

アライドテレシス株式会社 サポートセンター

<http://www.allied-tesis.co.jp/support/info/>

 0120-860772

携帯電話／PHSからは：045-476-6203
月～金（祝・祭日を除く） 9:00～12:00
13:00～18:00

13 サポートに必要な情報

お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止め、迅速な障害の解消を行うために、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点についてお知らせください。なお、都合により連絡が遅れることもございますが、あらかじめご了承ください。

● 一般事項

すでに「サポートID番号」を取得している場合、サポートID番号をお知らせください。サポートID番号をお知らせいただいた場合には、ご連絡先などの詳細は省略していただくことができます。

- サポートの依頼日
- お客様の会社名、ご担当者名
- ご連絡先
- ご購入先

● 製品について

製品名(GS905L)、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョンコード(Rev)などのハードウェア情報をお知らせください。

製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品に貼付されているシリアル番号シールに記入されています。



図 14 シリアル番号シール(例)

● 設定やLEDの点灯状態について

- LEDの点灯状態をお知らせください。

● お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に（再現できるように）お知らせください。

● ネットワーク構成図について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図をお送りください。

- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをお知らせください。

14 ご注意

本書に関する著作権などの知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。

弊社は、予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。

弊社は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

©2007-2008 アライドテレシスホールディングス株式会社

15 商標について

CentreCOMは、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

16 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。


取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

17 廃棄方法について

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

18 日本国外での使用について

弊社製品を日本国外へ持ち出されるお客様は、下記窓口へご相談ください。

 0120-860442

月～金（祝・祭日を除く）9:00～17:30

19 マニュアルバージョン

2007年3月 Rev.A 初版

2007年7月 Rev.B 誤記訂正

2008年5月 Rev.C 誤記訂正



613-000733 Rev.C 080523

ギガビットイーサネット・スイッチ

CentreCOM® GS905L ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM GS905Lをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本製品は、10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-Tポートを5ポート装備したギガビットイーサネット・スイッチです。本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後も大切に保管してください。

1 特長

- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-Tポートを5ポート装備
- AC電源を内蔵
- ファンレス設計
- ポートの通信状況が一目でわかるLEDを装備
- オートネゴシエーション機能をサポート
- 全ポートMDI/MDI-X自動切替機能をサポート
- フローコントロール機能をサポート
Half Duplex時：バックプレッシャー
Full Duplex時：IEEE 802.3x PAUSE
- Jumbo フレーム対応（9600 Byte以下）
- 最大8KのMACアドレスを登録可能

オプション（別売）





- 壁設置用ブラケットAT-BRKT-J23により、壁面への設置が可能
- マグネットKit Mにより、スチール製壁面への設置が可能
- 電源ケーブル抜け防止金具AT-RTNR-01に対応

製品の最新情報について

本製品リリース後の最新情報を弊社のホームページにてお知らせします。

<http://www.allied-tesis.co.jp/>


2 アイコンの説明

アイコン	意味	説明
	ヒント	知っていると便利な情報、操作の手助けになる情報を示しています。
	注意	物的損害や使用者が傷害を負うことが想定される内容を示しています。
	警告	使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
	参照	関連する情報が書かれているところを示しています。

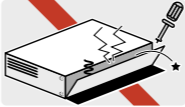


安全のために

必ずお守りください

 **警告** 下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない
感電の原因となります。



雷のときはさわらない

異物はいれない 水は禁物
火災や感電のおそれがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



異物厳禁

通風口はふさがらない
内部に熱がこもり、火災の原因となります。



ふさがらない

湿気やほこりの多いところ 油煙や湯気のあたる場所には置かない
火災や感電の原因となります。



設置場所注意

表示以外の電圧では使用しない
火災や感電の原因となります。本製品はAC100-240Vで動作します。なお、本製品に付属の電源ケーブルは100V用ですのでご注意ください。



電圧注意

正しい電源ケーブル・コンセントを使用する

不適切な電源ケーブル・コンセントは火災や感電の原因となります。接地端子付きの3ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの3ピン電源コンセントに接続してください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない
たご足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

設置・移動のときは電源プラグを抜く
感電の原因となります。

ケーブル類を傷つけない

特に電源ケーブルは火災や感電の原因となります。ケーブル類やプラグの取扱上の注意

- ・加工しない、傷つけない。
- ・重いものを載せない。
- ・熱器具に近づけない、加熱しない。
- ・ケーブル類をコンセントなどから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

正しく設置する 縦置き注意

取扱説明書に従って、正しく設置してください。不適切な設置により、放熱が妨げられると、発熱による火災の原因となります。

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください

- ・直射日光のあたる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- ・湿気が多い場所や、水などの液体がかかる場所（仕様定められた環境条件下でご使用ください）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュースを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- ・腐食性ガスの発生する場所

3 梱包内容

最初に、梱包箱の中に次のものが入っていることを確認してください。

- CentreCOM GS905L 本体（1台）
- 電源ケーブル*（AC100V用 1.8m 1本）
- 製品保証書（1枚）
- シリアル番号シール（2枚）
- ユーザーマニュアル（本書）

* 同梱の電源ケーブルは、AC100V用です。AC100Vでご使用の場合は、同梱のケーブルをご使用ください。AC200Vでご使用の場合は、設置業者にご相談ください。

* 同梱の電源ケーブルは本製品専用です。本製品以外には使用できませんのでご注意ください。

また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望まれます。再梱包のために、本装置が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。



静電気注意
本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊されるおそれがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

取り扱いはいけない
落としたり、ぶつかけたり、強いショックを与えたりしないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で
誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をしみこませ、固く絞ったもので拭き、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないでください
石油・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん・みがき粉（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書きに従ってください）

シンナー類不可

4 各部の名称と機能



図1 外観図(正面)

① **POWER LED (緑)**
本体に電源が正常に供給されているときに点灯します。

② **PORT LED**
○ 10M、100M (緑)
10Mは、ポートが10Mbpsで動作しているときに点灯します。100Mは、ポートが100Mbpsで動作しているときに点灯します。10Mと100Mが点灯しているときには、1000Mbpsで動作していることを示します。

○ LINK/ACT LED (緑)
ポートと接続先機器がリンクしたときに点灯します。また、パケットを送受信しているときに点滅します。

○ COL/FULL LED (緑)
ポートがFull Duplexで動作しているときに点灯します。消灯している場合は、Half Duplexで動作していることを示します。また、ポートがHalf Duplexで動作しており、コリジョンが発生したときに点滅します。

③ **10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポート**
10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-TのUTPケーブルを接続するためのコネクタです。接続先の種類(MDI/MDI-X)にかかわらず、ストレート/クロスどちらのケーブルでも使用できます。また、これらのポートはオートネゴシエーション機能をサポートしているため、最適な通信速度と通信モードを自動設定します。

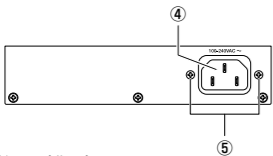


図2 外観図(背面)

④ **電源コネクタ**
電源ケーブルを接続するためのコネクタです。

⑤ **電源ケーブル抜け防止金具取り付けネジ**
オプション(別売)の電源ケーブル抜け防止金具(AT-RTNR-01)の取り付けに使用します。

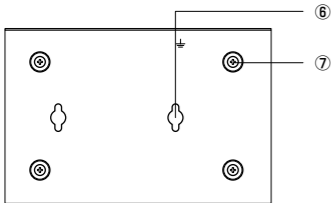


図3 外観図(底面、ポート下向き)

⑥ **壁面設置穴(2箇所)**
本製品を壁面に設置するための穴です。

⑦ **ゴム足**
本製品を平らなところに設置する場合のクッションとなるゴム足です。

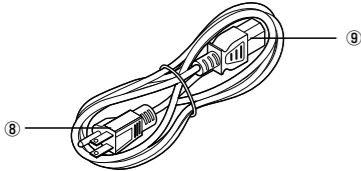


図4 電源ケーブル

⑧ **電源プラグ**
電源ケーブルを電源コンセントに接続するためのプラグです。

⑨ **電源コネクタ**
電源ケーブルを本製品に接続するためのプラグです。

5 設置

本製品の設置を始める前に、必ず「安全のために」をよくお読みください。

設置方法

本製品は、次の方法による設置ができます。

- ゴム足による水平方向の設置
- タッピングスクリーによる壁面への設置

オプション(別売)を利用することにより、次の方法による設置ができます。

- 壁設置ブラケットによる壁面への設置
- マグネットキットによるスチール面への設置

注意 電源部が下向きになる方向で設置する場合には、必ず、オプション(別売)の電源ケーブル抜け防止金具(AT-RTNR-01)を使用し、電源ケーブルを固定してください。

警告 弊社指定品以外の設置金具を使用した設置を行わないでください。また、本書に記載されていない方法による設置を行わないでください。不適切な方法による設置は、正常な放熱ができなくなり、火災、故障の原因となります。

・水平方向以外に設置した場合、「取り付け可能な方向」であっても、水平方向に設置した場合に比べほごりがたまりやすくなる可能性があります。定期的に製品の状態を確認し、異常がある場合には直ちに使用を止め、弊社サポートセンターにご連絡ください。

設置準備

● 設置するときの注意

本製品を設置する場所を確認してください。設置場所については、次の点にご注意ください。

- 電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置はさけてください。
- テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。
- 傾いた場所や、不安定な場所に設置しないでください。
- 底部を上にして設置しないでください。
- 十分な換気ができるように、本製品の通気口をふさがないように設置してください。
- 本体の上にものを置かないでください。
- 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほごりの多い場所に設置しないでください。
- 本製品は屋外ではご使用になれません。
- コネクタの端子にはさわらないでください。(静電気を帯びた手(体)でコネクタの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります。)

設置

● 平らなところに設置する

本製品をデスクの上などに設置して使用する場合は、必ずゴム足が付いていることを確認してください。衝撃を吸収するクッションの役目をします。

● タッピングスクリーによる壁面への設置

本製品は、ウォールマウント用タッピングスクリーを使用することにより、壁などの垂直な面に取り付けることができます。

タッピングスクリーを使用して壁面に設置する場合は、必ず下図の○の方向に設置してください。

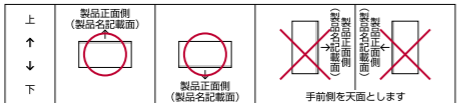


図5 タッピングスクリーを使用する場合の設置方向

警告 必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災、故障の原因となります。

・充分な取り付け強度が得られない壁面に設置しないでください。充分な強度が得られない場合、落下などにより重大な事故が発生するおそれがあります。

・適切なタッピングスクリーを使用してください。不適切なタッピングスクリーを使用した場合、落下などにより重大な事故が発生するおそれがあります。

1. 設置場所と設置方向を決める

電源ケーブルおよびUTPケーブルの接続が可能であること、また、LEDの表示が監視可能であることを確認してください。

2. タッピングスクリーを用意する

図6、図8を参考にして、適切なサイズのタッピングスクリー2本を用意してください。

2. タッピングスクリーをねじ込む

タッピングスクリーの間隔が本体底面にある2箇所の壁面設置穴の間隔と同じになるようにタッピングスクリーをねじ込みます。このとき、ネジと壁の間を1mmほど残してください。

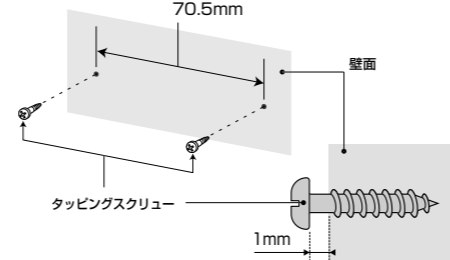


図6 タッピングスクリーの間隔

3. 本体を壁に取り付ける

2つのダルマ穴を、壁面のタッピングスクリーの頭に通し、穴の細い部分までずらして固定してください。

ヒント 壁設置ブラケットを使用する際は、本製品のゴム足を外した状態で設置してください。

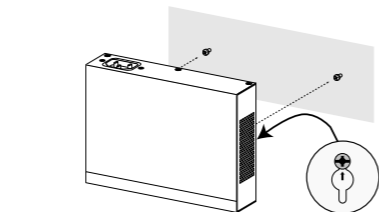


図7 ダルマ穴をスクリーの頭に通す

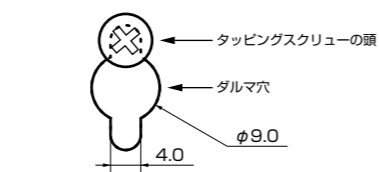


図8 細い部分までずらして固定

オプションを利用した設置

● 壁設置ブラケットによる壁面への設置

本製品の壁面への設置は、別売の壁設置ブラケットAT-BRKT-J23を使用し、以下の点に注意して行ってください。

- 壁設置ブラケットの使用法は、AT-BRKT-J23の取扱説明書をご参照ください。
- 本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。



図9 壁設置ブラケットを使用する場合の設置方向

ヒント 壁設置ブラケットを使用する際は、本製品のゴム足を付けた状態で設置してください。

・壁設置ブラケットに取り付け用ネジは同梱されていません。別途ご用意ください。

警告 必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災、故障の原因となります。

・壁設置ブラケットを使用して壁面に取り付ける際は、適切なネジで確実に固定してください。固定が不十分な場合、落下などにより重大な事故が発生するおそれがあります。

● マグネットによる壁面への設置

本製品のスチール製の壁面への設置は、別売のマグネットKit Mを使用し、以下の点に注意して行ってください。

- マグネットキットの使用法は、マグネットKit Mの取扱説明書をご参照ください。
- 本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。

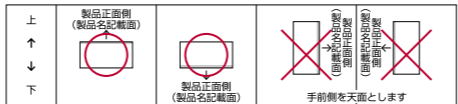


図10 マグネットキットを使用する場合の設置方向

注意 設置面の状態によっては、マグネットの十分な強度を得られない場合があります。

警告 必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災、故障の原因となります。

・マグネットの取り付けおよび機器の設置は、ケーブルなどの重みにより機器が落下しないように確実に行ってください。ケガや機器破損の原因となるおそれがあります。

6 接続



図11 接続図

ネットワーク機器の接続

● UTPケーブルの接続

UTPケーブルを使用して本製品とPCなどの端末を接続します。本体のLANポート(RJ-45)にUTPケーブルの一端を接続し、もう一端をネットワークポートに接続します。

ヒント UTPケーブルのコネクタ部を持ち、カチッと音がするまで差し込んでください。

● UTPケーブルのカテゴリー

10BASE-T接続の場合はカテゴリー3以上、100BASE-TXの場合はカテゴリー5以上、1000BASE-T接続の場合はエンハンスト・カテゴリー5以上のUTPケーブルを使用します。

● UTPケーブルのタイプ

本製品はMDI/MDI-X自動切替機能をサポートしているので、接続先の種類(MDI/MDI-X)を意図することなく、どちらのケーブルタイプ(ストレート/クロス)でも使用できます。

● UTPケーブルの長さ

本製品とネットワーク機器を接続する長さは100m以内にしてください。

電源ケーブルの接続(本製品の起動)

本製品は、電源ケーブルを電源コンセントに接続することで電源が入ります。

警告 本製品をAC100Vで使用する場合は、同梱の電源ケーブルを使用してください。AC200Vで使用する場合は、設置業者に設置業者にご相談ください。不適切な電源ケーブルや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。

注意 本製品には電源スイッチがありません。電源ケーブルを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。

ヒント 本製品はオプション(別売)の電源ケーブル抜け防止金具(AT-RTNR-01)に対応しています。

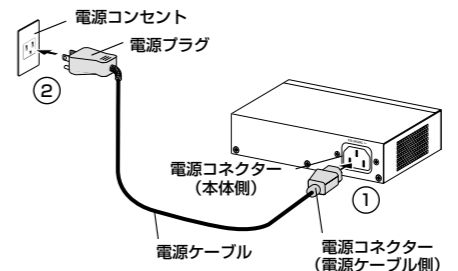


図12 電源ケーブルの接続

1. **本体側の電源コネクタを接続する。**
図12の①をご覧ください。
2. **電源プラグを電源コンセントに接続する**

図12の②をご覧ください。このとき、本体前面のPOWER LED(緑)が点灯することを確認してください。UTPケーブルが正しく接続され、接続先機器とのリンクが確立されると、接続したポートのLINK/ACT LED(緑)が点灯します。

本製品の停止

本製品を停止するには、電源コンセント側の電源プラグを抜いてください。

警告 電源コンセント側に差し込んだまま、本体背面に接続した電源コネクタを抜かないでください。感電事故を引き起こすおそれがあります。

ヒント 電源をオフしてから再度オンにする場合は、しばらく間をあけてください。

7 カスケード接続

本製品は、全てのポートでMDI/MDI-X自動切替機能をサポートしていますので、ケーブルの種類(ストレート/クロス)および接続先のポートの種類(MDI/MDI-X)を意図することなく、簡単にカスケード接続ができます。

ヒント スイッチ同士のカスケード接続は、カスケードできる数に理論上の制限がありません。そのため、用途に合わせてネットワークを拡張することができます。

・カスケードの段数はネットワーク上で動作しているアプリケーションのタイムアウトによって制限される場合があります。

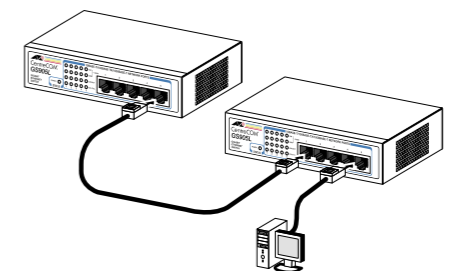


図13 カスケード接続の例

本体の任意のRJ-45ポートにUTPケーブルを接続し、もう一端を接続先機器の任意のポートに接続します。

8 設定

通信速度 / 通信モードの設定

本製品と接続先機器の通信モードは、次の表の○印の組み合わせになるように設定してください。

IEEE 802.3u規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品を接続する場合は、接続先機器のポートの通信モードをHalf Duplexに設定してください。

接続先ポート		GS905L
		Auto
10M/100M	Half	○
	Full	○
	Auto	○
1000M	Auto	○

9 トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

● POWER LEDは点灯していますか?

POWER LEDが点灯していない場合は、電源ケーブルに断線がないか、電源ケーブルが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

● 電源をオフにした後、すぐにオンにしていませんか?

電源をオフしてから再度オンにする場合は、しばらく間をあけてください。

● LINK/ACT LEDは点灯していますか?

LINK/ACT LEDは接続先機器と正しく接続されている場合に点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

- 接続先機器に電源が入っていることを確認してください。接続先機器が障害がなく通信可能な状態にあることを確認してください。
- 正しいUTPケーブルが断線なく正しく接続されていることを確認してください。
- UTPケーブルの長さが制限を超えていないことを確認してください。2つのネットワーク機器の直接リンクを形成するUTPケーブルは最長100mと規定されています。
- ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。特定のポートが故障している可能性もあります。
- UTPケーブルに問題がないか確認してください。ケーブルの不良は外観からは判断しにくい(結線はよいが特性が悪い場合など)、他のケーブルに交換して試してみてください。
- 接続先機器の通信モードを確認してください。本製品のポートは、オートネゴシエーション機能をサポートしています。IEEE 802.3u規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品を接続する場合は、接続先機器の通信モードをHalf Duplexに設定してください。

10 製品仕様

準拠規格	IEEE 802.3 IEEE 802.3u IEEE 802.3ab IEEE 802.3x	10BASE-T 100BASE-TX 1000BASE-T Flow Control
適合規格	UL60950-1 CSA-C22.2 No.60950-1	
安全規格	VCCIクラスB	
電源部	定格入力電圧	AC100-240V
	入力電圧範囲	AC 90-264V
	定格周波数	50/60Hz
	定格入力電流	0.6A
	最大入力電流(実測値)	0.13A
	平均消費電力	6.4W(最大9.6W)
	平均発熱量	23kJ/h(最大34kJ/h)
環境条件	動作時温度	0~40℃
	動作時湿度	80%以下(結露なきこと)
	保管時温度	-20~60℃
	保管時湿度	95%以下(結露なきこと)
外形寸法(突起部含まず)	160(W) x 105(D) x 35(H)mm	
質量	520g	
スイッチング方式	ストア&フォワード	
MACアドレス登録数	8K(最大)	
MACアドレス保持時間*	300~600秒	
メモリー容量	112KByte	
パケットバッファ容量	112KByte	

* 本製品に登録されたMACアドレスは、MACアドレスの保持時間が経過するとリセットされます。また、ポートの抜き差しを行ってもMACアドレス保持時間を経過しないとMACアドレスはリセットされませんのでご注意ください。